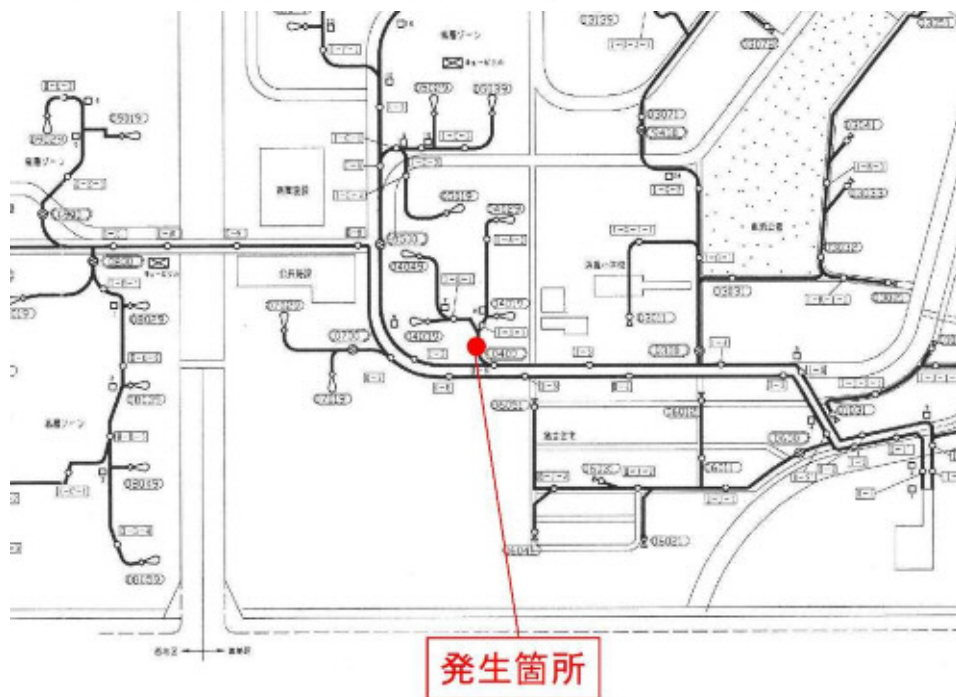


高浜町における真空輸送管の不具合

※不具合発生箇所と不具合真空輸送管展示状況



芦屋浜地域の真空輸送管の運用は昭和54年4月からです。

すでに45年経過しています。

真空輸送管は鉄製のものですが、

45年の間、上部からは絶えず土圧がかかり、地下水等により腐食が進行しています。また、内部は高速でゴミが移動することにより摩耗や汚液による腐食が進行しています。分別マナーに反するゴミについても劣化の原因になります。

本資料は、真空輸送管の腐食等の進行状況を写真等でお知らせするものです。



展示状況(2024年11月13日午後4時ころ)

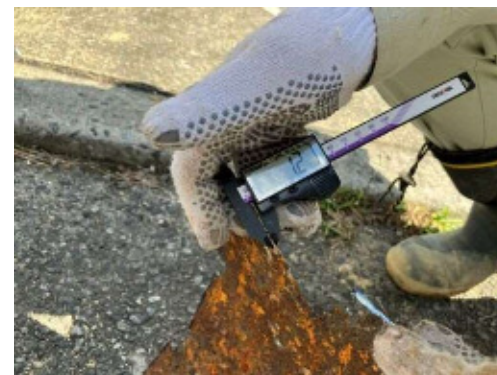
芦屋浜地域の真空輸送管の運用は条例により、西暦2039年3月31日までを限度としています。

その間、大規模改修や施設更新などは行わず補修等で運用することになっています。



高浜町における真空輸送管の不具合

※撤去時の写真ですが、一部撤去時に割れ目を広げています。



割れ目の近くでは鋼管の厚み 1.2mm です

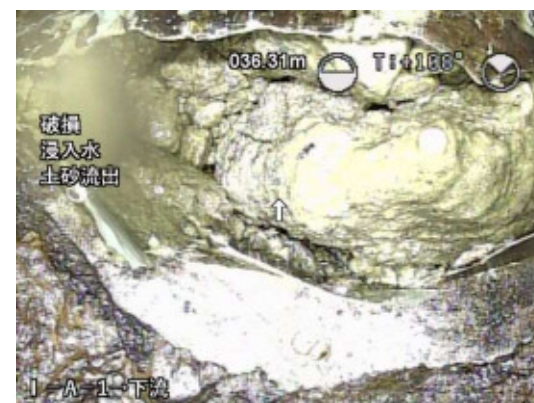
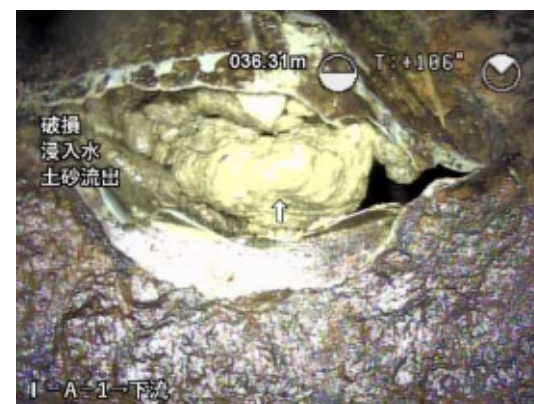


鋼管は厚くて 3.0mm です
※建設当初 9.5mm



高浜町における真空輸送管の不具合

※調査時点でのカメラ画像です



真空輸送管上部の割れ目状況です

写真では撤去していますが、この割れ目から土砂・地下水が多量に流入してきました。真空にすれば、より土砂等が流入しますので、長期運転停止しました。



高浜町における真空輸送管の不具合

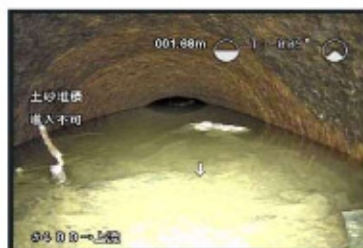
※不具合発生直後の状況写真

カメラ調査



令和6年6月29日
輸送管内カメラ調査

土砂堆積状況



令和6年6月29日
輸送管内カメラ調査

同上処分状況



令和6年6月29日
輸送管内カメラ調査

割れ目に向かって水面が上昇しています。
⇒割れ目部分が土圧によって圧迫
又は折れ曲がっていると思われます。

真空輸送管上部の割れ目は、その上の
地盤の陥没の要因にもなります。